

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 298 号	氏名	藤本 真澄
学位審査委員	主 査	酒井 英樹	
	副 査	上平 憲	
	副 査	西田 教行	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、従来のウイルスマーカーでは十分に評価ができなかった B 型肝炎関連生体肝移植における肝細胞内 B 型肝炎ウイルス (HBV) 増殖能の評価に関して、血清 HBV core-related antigen (HBcrAg) 測定の有用性を検討したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 肝移植前、移植後早期および安定期の保存血清を検体として CLEIA 法による HBcrAg 測定を行い、HBV-DNA 定量 (PCR 法)、各種 HBV 関連マーカーおよび臨床データと比較検討し、血清 HBcrAg 値の臨床的意義を解析したもので、研究手法として妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 HBV 再感染予防対策を施行され、HBsAg および HBV-DNA が陰性化した肝移植患者においても HBcrAg は測定可能であることが示された。血清 HBcrAg が B 型肝炎関連生体肝移植後の新規ウイルス増殖マーカーとして期待されるとともに、HBcrAg 測定が肝移植後の HBV 動態の解明に寄与する可能性が示唆された。</p> <p>以上のように本論文は B 型肝炎関連生体肝移植における血清 HBcrAg 測定の意義を明らかにした点で、肝臓病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			